

NPO法人・日本抜刀道連盟 会報

事務局
〒212-0100 川崎市幸区中幸町二丁目十七番
電話 〇四四一五五五八六六〇

平成二十四年度総会終る

四月一日(日)午後一時から、NPO法人・日本抜刀道連盟平成二十四年度定期総会が、東京港区の生涯学習センターで開催された。

出席者は三十一名で委任状十五通、合計四十八人となった。参加支部は三十六支部。

先ず大江正男会長が議長として挨拶、早速議事に入った。

議題

経過報告と二十四年度案

〇平成二十三年事業報告 菅野茂事務局長

〇平成二十三年会計報告 岡本光政会計



上・大江正男会長挨拶 下・参加者

〇監査報告 佐藤敏子監査

なごが報告されたが拍手で承認された。続いて同じく各担当者から二十四年度の事業計画案(別項参照)、会計予算案が提案された。

その後中島正夫事務部長から、二十周年記念誌の販売経過などについて報告があったが、二百部制作のうち残り僅か十一部と反響は大きかった。

また連盟としての公式DVDがBAB社から発売されたことについて、菅野茂事務局長から制作の経過などが報告された。(裏に関連記事)

組太刀仕様について

昨年十二月に発売された雑誌秘伝二月号に紹介された「組太刀仕様」について

中北祐嗣参与からその経過などの説明があったが、これは一部の支部で実施されている木刀を使った組太刀で、考案者の中心だった中北祐嗣参与が、東京・英信会支部で実施している。

これについては連盟として今後どうするかなど、制定刀法委員会が継続して検討することになった。(下の囲み記事参照)

宣伝用ポスター制作案

中世古勝副会長から、連盟の宣伝用ポスターを制作する旨説明があり、既に決まっている(中世古副会長が選択)写真の紹介があった。

写真は忠勇会支部長(千葉支部出身)の松浦健城五段が自身で出演したもので、松浦健城氏は時代劇を中心にした俳優である。

ポスターについては全体のデザインやキャッチコピーの問題もあり、今後事務局で検討を続けることになる。

ポスターは全会員に配付されるが、宣伝用といってもポスターを公の場所に掲示するには別途経費もかかるので、各支部、道場、自宅などに貼付する計画である。

今年度事業計画

今年度の事業計画は次のとおり

四月一日(日) 〇年次総会(すみ)

〇制定刀法講習会・笠間洗心館支部

〇第五回台湾支部抜刀道大会

五月五日(土) 〇制定刀法講習会・イタリア・ローマ支部

〇合同段位審査会・志操館支部、千葉支部、八千代支部、忠勇会支部

〇制定刀法講習会・山形支部

〇制定刀法講習会・山形支部

〇制定刀法講習会・山形支部

七月一日(日) 〇第15回全国抜刀術大会・山形市(遠藤先生)

〇制定刀法講習会・高知、島根、さぬき、福岡支部合同

〇制定刀法講習会・青森三沢支部

〇制定刀法講習会・高知支部

〇制定刀法講習会・高知支部

〇制定刀法講習会・武山会支部

〇制定刀法講習会・笠間洗心館

支部
十月十三日(土) 〇日本抜刀道連盟高段者審査会・鹿島神武殿

〇第二十二回日本抜刀道連盟全国大会・鹿島神武殿

〇笠間稲荷神社奉納

〇全日本抜刀道連盟全国大会・会長酒井田先生

〇制定刀法講習会・台湾支部

東京・英信会の「制定刀法・組太刀仕様」について

参与 中北祐嗣

武道専門誌「秘伝」一月号に「日本抜刀道連盟の制定刀法」が掲載された。これは平成二十三年十一月十日、東京都大田区大森の英信会の稽古場で取材されたものである。その内容は当然ながら日本抜刀道連盟の「抜刀道教本」に沿って書かれており、取材された側からみてもおおよそ過不足なくまとめられているといえる。ただ記事中に「組太刀仕様」という言葉が出てくる。これは「教本」にはないことなので、この紙上を借りて説明させていただくことにしたい。

そもそも抜刀道の制定刀法は、現在の教本の原型になった平成三年のころから剣道、居合道、古武道などの修行者が参集する中から生まれた。これは言いかえれば、抜刀道が剣道や居合道に比べて後発であり、また抜刀の修行者は剣道や居合道の経験者であったことを意味している。

ところがこのころ、そうした経験がなく初めて刀を手にするという入門者が増え始めた。刀の持ち方、振り方から教えるというのも、思い通りに教えられないという柔しさはあるのだが、さて制定刀法形を教えるとなるとそう簡単ではない。一本目にしてからが、単に上段から面を斬るというわけではなく、「相手が突いてくるのを察知して体を躲して」である。そう教えれば一見はそれらしくなるのだが、なにか違う。つまり虚実せめぎ合う攻防、剣の理合が見えてこない。教本には「假標を相手」と想定するように記せられ、しかも「互角の腕を持つ」としている。相手の動きを全く見えずに戦える訳がない。仏造って魂入れずとは正にこれであろう。

そこで考えたのが、制定刀法十本を組太刀に仕立てて攻防を学ばせるという方法である。「日本剣道形」を下敷きにして、制定刀法形をそのまま太刀にし、これにそれぞれ打太刀の形を付け加えて十本の組太刀に組み立てた。ただ当連盟にはすでに制定の「組太刀」五本があるので、組太刀の名称は使えず「組太刀仕様」と名付けた。

日本剣道形とは違い、ここでは打太刀は動かない假標である。動ける人間に置き換えるにはどうにも動きが難しく、また完成とは言い難い。だが Nothing is impossible である。幸いに理解協力してくれる他道場もあるので、こちらもも

研鑽、推進を続けていくつもりである。

(英信会・範十八段)

支部便り

秩父で支部合同研修会と審査会

去る三月二十五日、埼玉県秩父市皆野町立武道館で支部合同の研修会と審査会が行われた。

参加したのは武山会、剣誠会、練武会、静岡支部、鎌倉支部、英信館、武蔵会、尚武館、坂東、山形支部、鶴心塾、飛燕会、興心会（順不動）の十三支部で、参加者は五十二名と支部合同としては大規模だった。

昨年の連盟伝達講習会の出席者が六十五名だったことと比べると、十一支部、五十二名の参加は大規模なものだったといえる。

午前中は講習会がおこなわれたが、段外・初段、二・三段、四・五段と分けて段位にふさわしい配慮で講習が行われた。午後からの昇段審査は、初段五名、二段五名、三段一名、四段三名、五段二名の計十六名が審査を受けたが、このうち十名が合格した。審査員は七段八段の先生方が七名という厳しい体制の合議制でおこなわれた。



上は審査委員の先生方

義足の剣士・津吹憲一さん



義足の剣士五段合格

中でも大きな拍手があったのは、右足が義足の津吹憲一（つぶき けんいち）さん（五十七歳）だった。

津吹さんは英信館所属で長年抜刀を鍛錬してきたが、二年前ほど前に病で右足の膝から下を切断しなければならなくなりました。しかし抜刀など武道への思い入れは強く、その後も鍛錬を続けてきた。そして今回見事に五段に合格した。津吹さんの所作はとて右足が義足とは思えない正確なものだった。



遠く山形県やあ静岡県からも参加

女性の立場から見た抜刀道

川崎支部 佐藤敬子

抜刀道の鍛錬で改めて女性と男性について考えてみました。男女の違いは女性が男性に比べて非力であるという点で、男性の筋力の強さは確かに実技の成功の確率を上げるのではないかと思います。

私への最初のご指導が、正確な形の習得と並行しての筋力アップでした。抜刀を始めてまだ七年、その経験の範囲でも男性の強い筋力への羨望を感じることもあります。私などは少しの刃筋の狂いが斬り損じの原因になりました。

しかし、女性として自画自賛すれば、大会で勝ち抜いていく女性は男性より美しいと思います。技の正確さ、形の完成度は高いと思います。

私の入門のきっかけは、映画・眠狂四郎の「日月殺法」の剣の軌跡の映像美というミスターハーパー的なものと、博物館で見た日本刀の姿の美しさへの憧れでした。今の自分の抜刀道は、非力を補うために形という形式美に拘る事であるように思います。

豪放さと速さは男性に比べて劣るかも知れませんが、正確を追求することで追いつけると信じて練習に励みたいと思います。

女性剣士のみなさん、美しい抜刀道で男性剣士を蹴散らしましょう。

制定刀法伝達講習会

来る6月2日（土）、神奈川県立武道館において制定刀法伝達講習会がおこなわれます。今回は各支部長と六段以上の先生方が対象です。これに関連して大江会長は総会終了にさいし、「意見はあるとおもうが、いろいろ言わずに講習会と秋の大会を成功させたい。皆様のご協力をお願いしたい」と挨拶した。

剣士の部屋

千葉・志操館
タウエル二エ パテイスト
（二段 三十歳）写真

私は平成十八年に、現代雄刀の上達と古流雄刀の修行を目的に、フランスから国際武道大学に留学してきました。抜刀道については来日前から知ってはおりましたが稽古をする機会に恵まれませんでした。

平成二十年十一月に千葉県勝浦市で開催された全国銃剣道・短剣道高段指導者研修会にて、当時千葉県銃剣道連盟副会長（現相談役）として参加されていた金子館長と出会い、先生が抜刀道も指導されていることを知り、平成二十一年八月に志操館に入門しました。

学業・仕事の都合で平日の午後にマンツウマンの指導を受けております。稽古内容は、まず制定刀法の理合を確習するために館長が打太刀、私が仕太刀で、組太刀の形で制定刀法を稽古し、その後、形・実技に進みます。それが終わると剣道防具をつけ、刀・脇差と同寸の柳生新陰流の袋竹刀・短竹刀やタンボ槍等を使って「武士同士の真剣勝負」を想定した地稽古を行って終了となります。今後の抱負としては、制定刀法六本目の「厨」を安定して斬れるように稽古を積みたいと思っております。



DVD発売について

事務局長 菅野 茂

昨年末に「月刊秘伝」のBABジャパン社より、連盟制定刀法を収録したDVD「抜刀道の真髄」が発売されました。BAB社より経緯は好評だと伺っています。

制定刀法は理論的根拠に基づき技を文章化した教本にしました。しかし個々の解釈により技に多少の相違が生じます。さらに教本では「とくを同時に」とかではその解釈も千差万別となります。連盟としてはこれらを放置せず技は統一されるべきだと考えています。このDVDでは八名の先生方にご出演をいただきました。連盟の紹介から組太刀まで詳しく六十分間に収録され、さらに入門編として制定刀法の形と実技に解説が付き観る教本にもなります。会員の皆様には是非ご購入をいただき、稽古のお役に立てていただければ幸いです。

画像を撮る際の注意としてはカメラ位置

によって、振り下ろした剣先の位置や遠近感が異なって観えたりもします。そこで連盟ではより制定刀法の充実を図るため毎年六月に伝達講習会を開催しています。今年度は六月二日（土）午前九時半受付、十時開始午後四時終了で、神奈川県立武道館にて行います。六段以上の高段者と各支部長は是非ご参加ください。また当日会場にてDVDの注文も受け付けますので、この機会にお買い求めいただくようお願いいたします。

